

# 「半沢直樹」の脚本家八津さん 下積み20年「継続は力」

## 母校佐野日大高で講演

【佐野】人気ドラマ「半沢直樹」のおちよやんなどの脚本を手掛けた脚本家八津弘幸さん(50)は22日、母校の佐野日大高で講演を行い、進路を模索する後輩たちにエールを送った。

栃木市出身の八津さんは同校を1990年卒業。99年に脚本家デビューし、数々のヒットドラマの脚本を担当した。講演会は「八津さんの経験を生徒たちの進路選択の一助にしたい」と同校が企画した。

講演で八津さんは、日本大芸術学部演劇学科に入学

したことが、脚本家を志すきっかけになったと紹介。「下積みは20年に及んだが、脚本家になりたいという気

持ちは少しも変わらなかつた」と語り、「継続は力なりだ」と強調した。

また「半沢直樹」の制作チームについて「ものすごくストイックで、他のチームにない素晴らしきがあった」と振り返り、「夢をかなえるのは1人の力だけでは無理。周りに助けてもら



講演会で後輩たちにエールを送る八津さん

える人間になるべきで、そのためには周りの人のためになることをすることが大切だ」と訴えた。

生徒を代表し、2年国生

里蓮さん(16)は「脚本家という仕事に対する熱い思いを知ることができ感銘を受けた」と謝辞を述べた。

(柴田正人)

# 今年最後の繭出荷

## 小山 総量6.3トン、目標達成



繭の選別作業を行う関係者

【小山】JAおやま桑東部集荷所で23日、今年最後の繭の出荷作業が行われた。市内外の養蚕農家6軒

や同JAの関係者らが選別などに当たった。

袋に詰められた計約1340キの繭が次々と運び込